



まつした 浩明 松下ひろあき県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855

千葉市中央区市場町2番13号

電話 043 (227) 7411

英語教員の人材不足を指摘

小学校での外国語必須化で

○山武市特集○ 12月県議会一般質問



本会議場に登壇し、執行部に一般質問する松下県議

県立
高校

選抜受検で障害者へ配慮を

うな配慮をしているのか。

県教育長 県教委では、県立高校の入学受検に当たって、障害のある生徒が特別な配慮を必要とする場合には、生徒及びその保護者が受検先の高校に、具体的な配慮事項を申し出ることで、実施要項に定められています。申し出を受けた高校で

国体で本県活性化へ

松下議員 知事として「ゆめ半島千葉国体」の意義をどう位置づけるのか。

森田知事 国体は、国民の健康増進や体力向上を図るとともに、スポーツ振興や地方文化の発展に寄与するものです。千葉国体では、①選手の力を引き出せる環境づくりなど、スポーツの素晴らしさを実感できる大会②全国から来る方々を県民の「心のこもったおもてなし」でお迎えし、訪れた人が満足する大会―を目指します。また、国体を契機として、本県の観光地や特産物、歴史・文化、産業など多様な魅力を全国にアピールし、本県の活性化につなげていきたいと考えています。

松下議員 身体に障害のある生徒の県立高校の入学受検に当たって、どのような配慮をしているのか。

松下議員 開・閉会式で「千葉らしさ」をどう示し、アピールしていくのか。

松下ひろあき県議プロフィール

○経歴○

- 昭和36年1月 山武市椎崎生まれ
- 平成11年9月 山武町議会議員に当選
- 16年5月 山武町長に当選
- 18年3月 合併で山武町長辞任
- 19年4月 千葉県議会議員に初当選

○現職○

- 山武JRバレーボールクラブ会長(党役員)
- 自由民主党千葉県支部副幹事長
- 政務調査会審議委員
- 選挙対策委員会委員
- 青年局・青年部交流部会委員長
- 自由民主党山武市第一支部長(議会役職)
- 環境・生活・警察・千葉国体局常任委員会副委員長
- 千葉県議会運営委員会委員

環境・生活・警察・千葉国体局常任委員会副委員長

山武市や県政のご相談、ご要望をお聞かせください

松下ひろあき

県議事務所

〒289-1223

山武市埴谷1867-35

TEL.0475-89-0718

松下ひろあき公式ホームページ <http://www.hiroaki-m.net/>

山武市
特集県政へ
真つすぐに、
ひたむきにまっした
松
下
ひ
ろ
あ
き
県
議
員

ブロードバンド・ゼロ地域の解消を

IT基盤整備の必要性訴え



議員同僚と執行部に課題解決を迫る松田県議

松田議員 デジタル技術の活用により、2015年に実現される「将来ビジョン」を官民で共有する「i-Japan戦略2015」を踏まえ、本県の取り組み状況はどうか。

総務部長 県では、平成19年3月に策定した「ちばIT活用推進プラン」が、本年度までとなっていることから、「i-Japan戦略2015」を踏まえ、新たなIT活用のための戦略を策定することとしています。具体的には①総合計画の目標の実現に資するためのIT活用の推進②情報セキュリティ対策の推進③利便性が高く効率的な電子自治体の推進④県内地域のIT化の支援—などを中心とした戦略にしていきたいと考えています。

松田議員 これらの政策はブロードバンド基盤の整備が前提となっていますが、県内には未だにADSLや光通信の届いていない、いわゆるブロードバンド・ゼロ地域も存在しています。こうした地域の解消に向けた具体的な施策はどうなっているのか。

総務部長 県では、ブロードバンド・ゼロ地域の解消に向けて、民間事業者による整備を働きかけるとともに、採算性などの理由から整備が進まない過疎地域等について、国、県、関係市町村及び民間事業者で構成する「千葉県ブロードバンド利用環境整備推進会議」を設置し、地域ごとの課題の把握、需要喚起の方法などについて検討しています。

地域特性生かした防災訓練

松田議員 あの関東大震災から約90年、千葉県東方沖地震から約20年経ちます。いつ起こるか分からない災害に対し、訓練を繰り返し行い、住民にとって一番身近な市町村・自治会との防災体制強化を図ることが重要だと思っています。第30回8都県市合同防災訓練の千葉会場が山武市で開かれ、良かったと思います。そこで、今回の訓練の特徴と評価、そして今後の訓練にどう生かしていくのか、伺います。

森田知事 今回の訓練の特徴は、九十九里浜に面した山武市の地域特性を生かし、ライフセイビングクラブと海上保安庁など防災関係機関との緊密な連携・協力による「津波対策訓練」や、住民やボランティアが参加した宿泊体験型の「避難所開設・運営訓練」などを実施したところです。

松田議員 聴覚障害者をはじめとする災害時要援護者に対する防災訓練に、県として今後、どのように取り組んでいくのか。

松田議員 千葉県で実施した今回の訓練でも、聴覚障害者をはじめ高齢者や障害者などが参加した避難訓練を行いました。避難所の開設などでも「福祉避難室」を設置し、要援護者に対する避難所生活の介助や支援などの訓練も実施しました。また、10月に作成した災害時要援護者支援の手引きの説明会を、市町村に対して開催し、訓練の実施を働きかけてまいります。

自殺者の現状と対策

松田議員 千葉県で実施した今回の訓練でも、聴覚障害者をはじめ高齢者や障害者などが参加した避難訓練を行いました。避難所の開設などでも「福祉避難室」を設置し、要援護者に対する避難所生活の介助や支援などの訓練も実施しました。また、10月に作成した災害時要援護者支援の手引きの説明会を、市町村に対して開催し、訓練の実施を働きかけてまいります。

健康福祉部長 本県の自殺者は、毎年1300人前後と、全国と同様に高い水準で推移しています。年代別には60歳代が249人、50歳代が232人、30歳代が209人と多くなっています。

松田議員 県として地域への取り組みはどうか。

健康福祉部長 地域における自殺対策力の強化を目的とする「地域自殺対策緊急強化基金」を10月に設置したところです。

今後、これを活用し、健康福祉センターを中核として、市町村や民間団体等関係機関と連携し、地域における自殺対策の推進を図ってまいります。



県民の安全を確保する松田県議